

改革！！さらなる飛躍
元気で活力ある日向の再生

マニフェスト ～市民との約束～

黒木 健二

元気で活力ある日向の再生 「マニフェスト ～市民との約束～」の目的と考え方



私は、この一期目の4年間、就任時に掲げた「市長マニフェスト」を強力に推進し、「元気で活力ある日向の再生」に向け誠心誠意取り組んでまいりました。

この間、合併による「新日向市」の誕生や、長年の悲願であった鉄道高架切替と新日向市駅の開業、平岩小中学校の開校など、将来に語り語り継がれるであろう代表的な事業の完成を見ることができました。

また、私は本市の活力を呼び覚ますためには「雇用の確保」が最優先課題であると位置づけ、積極的な企業誘致活動を展開してまいりましたが、この4年間で13社の企業立地により約300名の新たな雇用の創出が図れたほか、現在でも数社との間で、本市への進出に対し前向きに交渉を続けさせていただいているところであります。

さらに、ソフト面においても、人材育成分野におけるブックスタート運動の導入や少人数学級の推進、環境分野におけるISO14001の認証取得、さらには、民間活力の導入による行財政改革の確実な実行など、様々な分野における取り組みは、地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰をはじめとして、新日向市駅の林野庁長官賞や国土交通省鉄道局長賞の受賞など、客観的にも大きな評価をいただいたところであり、これもひとえに、市民の皆さまの温かいご理解とご支援の賜であると受け止めているところであります。

このように、皆さま方のご協力により、この4年間で大きな成果をあげることができましたが、これまでの取り組みは、「元気で活力ある日向の再生」のための土壌づくりと種蒔きの段階でもありました。そして、これまで蒔いてきた種が、まさに芽吹こうとしている今だからこそ、この芽を育て、個性的で魅力ある花を咲かせるという次の飛躍のステップが重要であると考えているところであります。

このため、次のステップである今後4年間の具体的な重点施策を示すものとして、この「マニフェスト～市民との約束」を作成しました。このマニフェストにより、私がこれまで積み重ねてきた実績をさらに進化させ、「元気で活力ある日向の再生」のさらなる飛躍を目指し取り組んでまいり所存でありますので、市民の皆様には、より一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

これまでの4年間の主な実績

①企業誘致の実績

13社の企業立地により新規雇用約300人

②ゼロからの行財政改革

- 資源回収業務の民間委託(H17.4.1)
- 事業系ごみの収集業務の廃止(H18.4.1)
- 公立日知屋保育所の民間移行(H19.4.1)
- 民間企業によるリサイクルプラザ「ひゅうがりサイクルセンター」オープン(H19.4.1)
- 「日向市財政改革プラン」と「新しい日向市政改革大綱」の策定(H18)

③未来を拓く人材の育成

- 小中一貫教育の推進
日向市小・中一貫教育特区の認定(H17.7)
平岩小中学校開校(H18.4)
- 30人学級の推進(H16より段階的に導入)
- ブックスタート運動導入(H17.4)
- ホームスタディ制度導入(H16.9)
- 宮崎国際大学との連携協力協定締結(H17.11)

④少子高齢化対策

- つどいの広場、ファミリーサポートセンター開設(H19.4)
- 子育てアドバイザー設置(H19.4)
- 地域包括支援センター開設(H18.4)

⑤観光振興元年

- 日向市観光振興計画を策定(H18.3)
- D・スポーツ！日向プロジェクトの推進
欽ちゃん球団「茨城ゴールデンゴールズ」をはじめ、各種サーフィン大会等の誘致
- 若山「若山牧水」顕彰事業の展開
短歌塾や書簡展の開催

⑥さらに…

- 東郷町との合併(H18.2)
- 鉄道高架切替と新日向市駅の開業(H18.12)
- ISO14001認証取得(H18.2)
- 市民との協働のまちづくり
市民まちづくり支援事業の創設(H18)、協働のまちづくり指針策定(H19)

次の4年間に向けて…

★政策の目標

元気で活力ある日向の再生

★政治姿勢

誠実・情熱・実行

★市勢発展の視点

①市民が主役

③トコトン現場主義

②情報公開・説明責任

④ゼロからの行財政改革

★政策実現のキャッチフレーズ

市民が奏でる交響空間 優しく 強く 温かい 人とまち*
～子どもに夢を！ 若者に希望を！ 女性・高齢者に安心を！～

※「市民が奏でる交響空間 優しく 強く 温かい 人とまち」は、「市民との協働」と「地域力の活用」を基本理念とする「新しい日向市総合計画(H19～H28)」のキャッチフレーズであり、「市民との協働によるまちづくりにより、『自助・共助・公助』がうまく融合した社会が構築され、自立した市民と日向市の姿」を表現しています。

「元気で活力ある日向の再生」のさらなる飛躍に向けた

マニフェスト～市民との約束～

今後4年間で推進していく重点プロジェクト

“優しい人”とまちプロジェクト【安全、安心なまちづくり】

項目名	内 容	目 標
地域の防災・防犯力の向上	自主防災組織の確立 (自主防災組織の結成率：平成19年度 68%)	平成23年度に結成率 100%
	耳川河川水防災事業(平成11年度開始)の促進	平成23年度完了予定
	消防署「東郷分遣所」の設置	平成21年度中に設置
	LED防犯灯(街路灯)の導入	平成20年度から順次導入
	常時冠水地帯の整備計画の策定	平成20年度に策定
	日向市地域情報化計画の推進 ◇同報系防災行政無線の整備 ◇テレビの共同受信施設のデジタル化 ◇市内全域のブロードバンド化	平成21年度から順次整備 平成23年度完了 平成22年度完了
高齢者への支援	ぷらっとバスを生活路線バスとして拡充 (南部地域、東郷町域、市街地域)	平成21年4月1日運行開始
	(仮称)市民かがやきプラザの設置 ・高齢者の生きがいづくりと豊かな経験を生かした社会参加の促進 ・親、子、孫三世が集う地域コミュニティづくり	既存施設を活用したモデルプラザを平成21年度に開設
	地域包括支援センターの充実 (1カ所を2カ所に拡大)	平成21年度設置
	高齢者保健福祉制度の充実 ・後期高齢者医療制度の検証と支援制度の創出	平成20年度検証 平成21年度以降順次設置
少子化対策	乳幼児医療費を小学校就学前まで無料化	平成20年度中に実施
	幼保一元化(認定こども園)の推進	平成22年度から順次設置
	妊婦健康診査の無料回数の拡大	平成20年度：2回→5回 順次段階的に拡充
	乳ガン検診への支援拡充 (40才以上からを30才以上に引き下げる)	平成21年度から実施
	組織体制の充実 ◇こども課の設置	平成21年度設置
障がいのある人への支援	障がい者センターの建設整備	平成22年度に建設
	発達障がい者に対する支援制度の拡充	平成20年度から実施
	「障害者自立支援法」の隙間を埋める、市独自の支援制度の創出	平成21年度から実施
簡易水道の整備と上水道との統合	日向市簡易水道統合整備計画の推進 (東郷町域、田の原、鶴毛地区)	平成20年度から順次実施
東郷病院の存続・整備	地域医療機関として存続	

産業“元気”プロジェクト

項目名	内容	目標
新たな雇用の場の創出	細島1区・4区を誘致企業ですべて埋めます	4年間で15社 新規雇用：1,000人
	地方再生戦略の推進 ・地域のあらゆる資源を利活用した地域おこし ・バイオマスを利活用した環境にやさしい代替エネルギーの開発 ・耐震性に優れた木材の開発など	平成20年度：国の認定予定 平成20年度から取り組み開始以後、順次実施
中小企業振興計画の策定	地域資源を活用した新製品の開発研究等を行う産学官による共同研究開発センターの設置	平成23年度に設置
	やる気のある中小企業への支援制度の創設（ベンチャー企業、コミュニティビジネス、起業支援など）	平成22年度から実施
攻めの農林水産業の展開	日向・入郷地域のブランドの確立 （平兵衛酢、完熟きんかん、完熟トマト、完熟マンゴーなど） 後継者（認定農業者）の育成・強化 生産基盤の整備	平成20年度以降拡充
	集落営農の育成・強化	3集落→6集落：平成23年度
	地産地消運動の展開（食の安全、安心）	平成20年度以降拡大
	農業トラストクラブの結成	平成21年度からモデル地区で実施
	栽培漁業の拡充	平成20年度以降拡充
	未植栽地域の解消	平成23年度までに解消
「健康」をキーワードにした観光まちづくり	食の魅力創造プロジェクトの推進 （食の拠点「潮風のまち 細島・海の駅」づくり事業の推進） ～「牧水」から「お舟出」へ～環境保全歩みち（フットパス）プロジェクトの推進 Doスポーツ！タウン日向プロジェクトの推進 ◇欽ちゃん球団「茨城ゴールデンゴールズ」をはじめとするキャンプ誘致の推進 ◇サーフィン大会をはじめとするスポーツイベントの誘致	平成20年度以降拡充

交流“にぎわい”プロジェクト

項目名	内容	目標
九州の交流拠点となるまちづくり	細島港、日向市駅、東九州自動車道などの広域交通ネットワークを活用した福岡戦略 ・二地域居住、定住の促進	平成20年度から取り組み開始
日向東臼杵広域連携観光まちづくり	リゾート振興基金を活用した広域観光の推進 ・農業、漁業などの体験型ツーリズムの振興	平成19年度から実施 平成20・21年度拡充

地域の宝“きらり”プロジェクト

項目名	内容	目標
「若山牧水」を生かしたまちづくり	国民的歌人「若山牧水」の顕彰事業のさらなる展開 ◇没後80周年記念事業の開催 ・与謝野晶子短歌文学賞 ・「創作」（若山聚一氏主宰）全国大会 ◇牧水ウオーク、「短歌塾」の実施	平成20年度実施 平成20年度以降拡充
	組織体制の充実 ◇「若山牧水係」の設置	平成20年度から設置
全市公園化構想	日向市景観計画の推進	平成20年度から順次実施

みんなで育む“ひゅうがっ子”プロジェクト

項目名	内容	目標
次世代を担う“ひゅうがっ子”の育成	小・中一貫教育の推進 ・英会話教育など特色のある教育を実践	平成20年度：大王谷小中学校の開校 → 順次拡大
	30人学級（中学校）の拡大	平成20年度以降拡大
	本格的なブックスタート運動の展開	平成20年度から実施
温かい地域づくり	こども安全監視員制度の充実 ・全市的なネットワークづくり	平成20年度実施

ゼロからの行財政改革

- 健全で持続可能な行政経営のために、地域経営の発想で既存の制度を見直すとともに、費用対効果を重視し、ゼロからの行財政改革に取り組みます。
- 「新しい公共空間」の創出と市民満足度の向上のために、民間にできることは民間に任せることを基本に、民間活力の積極的な活用を図ります。

項目名	内容	目標
ゼロからの行財政改革	日向市財政改革プランの推進 ・収支改善額：30億5千2百万円	平成21年度までに達成
	新しい日向市行政改革大綱の推進 ◇職員の定員管理の適正化 ◇ゴミ収集業務及び鈴峰園の民間委託、指定管理者制度の拡大など	平成23年度までに達成 621人→593人に（28人削減） 平成21年度から順次実施
協働による地域づくり	市民との協働の推進 ◇NPO等市民活動拠点施設の整備 ◇協働の基本理念やルールづくり ◇協働化テストの導入 ◇（仮称）市民かがやきプラザの設置による地域コミュニティづくり ◇東郷町地域自治区で導入された、地域振興基金を活用した取り組みの拡大	平成21年度に整備 平成20年度に作成 平成21年度から実施 既存施設を活用したモデルプラザを平成21年度に開設 平成21年度モデル区で実施